第６学年　外国語科学習指導案

１　単元名　『YOU は何食べに日本へ？～おすすめの和食メニューを紹介しよう！～』
(New Horizon Elementary 6　Unit6　Let’s think about our food.)

２ 単元の目標

・食材の名前や産地，食材の栄養群などの言い方を使って，おすすめの和食について紹介したり，相手の話を聞いて概要を理解したりすることができる。（知識・技能）

・相手に伝えたいことを整理し，内容を構成したり，相手に伝わりやすいように話したりすることができる。（思考力・判断力・表現力）

・相手に伝えたいことを整理し，内容を構成したり，相手に伝わりやすいように話したりしようとしている。（学びに向かう力，人間性等）

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
I ate ～. I usually eat ～. ～ is from…. ～is in the … group.およびその関連語句などについて理解しているとともに，「おすすめの和食メニュー」について，これらの表現を用いて話すことができる。	相手が食べたいと思えるような，おすすめメニューを伝えるために，食材の産地や栄養素などについて，簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の考えや気持ちとともに話すことができる。	相手が食べたいと思えるような，おすすめメニューを伝えるために，食材の産地や栄養素などについて，簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の考えや気持ちとともに話そうとしている。

４　単元の構想

これまでの単元では，ペアやグループで発表や，やり取りを行ってきた。基本的な英語表現を聞いたり話したりして，何度も繰り返し練習に取り組む児童が多かった。しかし，台詞を覚えるために一生懸命になりすぎ，発表内容の構成や順序，付け足しの表現などの内容面や，アイコンタクトやジェスチャー，声の大きさやスピードなど，非言語面を工夫しようとするまでに至らず，相手意識が薄れていることが課題であった。そこで前単元から児童とともに，内容面と言語面に分けてルーブリックを作り，児童一人一人に評価軸をもたせるようにしてきた。発表する相手を単元によって変え，常に相手意識をもたせるようにも指導してきた。本単元でもルーブリックを児童とともに作成し，自己の課題把握や，自己調整のために活用していきたい。また本校に夏休み明けから新たに赴任したALTをゴールの発表相手とし，相手意識をもたせながら指導していく。

本単元は，New Horizon Elementary6「Let’s think about our food.」を扱う。本単元は，日本の食生活を題材にし，ALT に「おすすめの和食メニュー」を発表することをねらいとする。まず食材に関する言語材料について学ぶ。食材の産地や栄養素と話題が広がり，最後に班で一人一人が「オリジナル和食メニュー」について自分の考えや気持ちを含めて発表する。

単元初めに，ALT から届いた，おすすめの和食の魅力を知りたいというメッセージ動画を視聴する。海外の食文化の紹介を聞き，文化の違いを感じることは異文化理解を深めるよい機会である。外国の文化を理解するとともに，日本の食文化について考え，伝えようとする意欲をもたせたい。発表に向けて，班で紹介したい和食メニューを考えたり，調べたりして発表練習をしていく。その際に，個々の課題を改善するために，自分に最適な方法で練習する時間を設けていく。また，相手に自分の考えた和食メニューの魅力を伝えたり，「食べてみたい」と思ってもらったりするにはどうすればよいかを考え，発表内容や話し方などの観点を児童と決め，ルーブリックを作成する。発表の観点を共有することで，自己の学習の調整をし，相手意識・目的意識をもって活動に取り組ませたい。

また，同時期に家庭科で調理実習や，栄養教諭との食育授業を行う。本単元ではそこでの学習

内容を，英語を用いて ALT へ発表するといった学習場面を設定する。紹介したメニューを献立づくりに生かすなど，栄養教諭や管理職とも相談していく。他教科と関連させながら教科横断的に学習指導を行う。

５　単元の指導計画

時	学習のねらい	評価		
		知・技	思・判・表	態度
1	○単元の見通しをもち，和食の名前や食材の言い方を知る。 ・ALT からのお願いを聞き，本単元のゴールの見通しをもつ。また自分の目標を立てる。 ・What did you eat?の歌を歌う。 ・Small Talk ～What did you eat last night?～ ・様々な和食や食材に関する英語を知る。 ・振り返りを書く。	本時では，記録に残す評価　は行わないが，目標に向けて　指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。		
2	○食材の産地の尋ね方や答え方について知る。 ・Are you hungry?のチャンツを歌う。 ・ Small Talk ～ What do you usually have for breakfast?～ ・ALT や担任が買ってきた食材の産地について考え，尋ね方や答え方を知る。 ・食材の産地を尋ね合う練習をする。 ・振り返りを書く。	○		
3	○食材がどの栄養素のグループに入るかの尋ね方や答え方について知る。 ・What did you eat?の歌を歌う。 ・Small Talk～What did you eat for dinner?～ ・担任の夕食のメニューがどの栄養素のグループに入るか児童とやり取りをしながらバランスを確かめる。 ・食材の栄養素の尋ね方や答え方を知り，練習する。 ・振り返りを書く。	○		
4	○「おすすめの和食メニュー」を作る。 ・Are you hungry?のチャンツを歌う。 ・Small Talk～What Japanese food do you like?～ ・「オリジナル和食メニュー」について，食材の産地を調べたり，メモを作ったりする。 ・メニューを紹介し合う練習をし，動画を撮影する。 ・振り返りを書く。	○	◎	
5	○どのような発表だと目標が達成できそうかを考える。 ・ Small Talk ～ What do you usually have for breakfast?～ ・前時までに録画した発表動画の中から，好例を共有し，発表内容について改善したり追加したりしていけるようにする。 ・発表の観点を整理し，ルーブリックを作成する。 ・観点を意識し，「おすすめの和食メニュー」の発表動画を撮影する。		◎	○

	・振り返りを書く。			
6 （本時）	○「おすすめの和食メニュー」について自分の考えや気持ちを伝え合う。 ・Small Talk～What Japanese food do you like?～ ・前時に撮った動画を見返し，ルーブリックをもとに，目標が達成できそうかとその理由を考える。 ・自分で必要な方法を選択し，発表を改善し，グループ内で相互評価をする。 ・振り返りを書く。		○	◎
7	○「おすすめの和食メニュー」について自分の考えや気持ちを伝え合う。 ・前時に撮った動画を見返し，ルーブリックをもとに，目標が達成できそうかとその理由を考える。 ・自分で必要な方法を選択し，発表を改善し，グループ内で相互評価をする。 ・振り返りを書く。		○	◎
8	○ALT が食べてみたいと思う和食メニューを伝えるために，食材や栄養素，考えや気持ちなどを発表する。 ・考えたメニューの食材の栄養素，食材の産地などについて，自分の考えや気持ちを伝える。 ・学習を振り返る。	◎	○	

6　本時の計画

(1) ねらい

自分が考えた和食メニューについて，自分の課題に応じた改善方法を選択して練習したり，友達同士でアドバイスし合ったりする活動を通して，発表しようとする。

(2) 本時の構想

本単元では，単元のゴールに向かって，「自らの学習を調整しながら学ぼうとする姿」を目標に設定している。そのため，自己の現状を把握したり，課題に応じた改善方法を選択して練習したりする力を身に付けさせたい。そのために以下の手立てを講じていく。

手立て① 子どもとともに作成したルーブリックの活用

前時までに，どのような発表だと目標が達成できるかを考え，発表の内容面と英語面の観点に分けて，ルーブリックを作成してきた。前時に撮影した動画を見返す際や，展開部で再度撮影した発表を相互評価する際に，ルーブリックを用いて，目標が達成できているかどうかを確認させていく。

手立て② 個別最適な発表改善の場の設定

前単元までに，「外国語レベルアップタイム」と称して，自由進度学習に取り組ませてきた。自分の課題に応じて，①きく（手本動画やデジタル教科書の音声，先生への質問）。②発表のための個人練習。③友達との練習・改善。といった様々な課題解決の方法を個々に選択させる。また，④「レベルアップカード」というワークシートを配付する。発表に使える単語や英語表現，また練習方法などを記載し，手元にいつでも見られるようにし，学習の補助として使用する。このように個別最適な練習の場を設けることで，一人一人の発表改善につなげていく。

手立て③ 児童同士の相互評価と，担任による軽い評価

改善した発表を試す場として，同じ班の友達とペアをつくり，お互いの発表動画を撮影し合う。その際に，ルーブリックの観点に沿って，どのように改善したかを伝えてから動画を撮影する。撮影後，お互いによかった点や改善点をアドバイスし合うことで，相手意識をもって発表したり，友達のよい表現を自分の発表に取り入れようとしたりすることができると考える。

また，前時からの発表内容の変容を見取ることができるようにする。あらかじめ何人かの児童を抽出しておき，前時の発表内容から，伝えたい思いをよりよく表現しようとしたかという主体性を見取り，助言や支援していく。

(3) 展開

時間	学習活動 （教師の働きかけと予想される児童の反応）	・留意点や準備するもの ■評価（評価方法）
導入 10 分	①Small Talk T１：What Japanese food do you like? C１：I like “nikujyaga.” T２：Nice. What’s this? C２：This is carrot. T３：It’s good. Where is the carrot from? C３：The carrot is from Niigata. T４：I see. What group is carrot in? C４：Carrot is in the green group. T５：OK. Thank you! T６：ではペアでやってみましょう。 学習課題　「食べてみたい」と思える和食メニューを伝えるには，どうすればよいだろうか。 ②前時に撮影した動画を振り返り，ルーブリックをもとに，目標が達成できそうか考え，学習課題とまとめを確認する。 T７：前回撮影した動画を見返しましょう。皆さんの発表は，「食べてみたい」と思ってもらえるような発表になっていますか。 C５：なんかぼそぼそ言っていて伝わらなそう。 C６：どんな味かを伝えきれてないなあ。 C７：もっと他にも情報を付け足すと伝わりそう。 T８：なるほど。前時の振り返りにも，料理の特徴を付け足したいと書いていた人もいましたね。せっかくおすすめのメニューを作ったから，食べてみたいと思ってもらいたいですね。 まとめ　味や特徴を説明に付け足すとよい。	・児童に質問をしながら，会話を進めていく。掲示物を使って会話例を示した後，ペアトークを始める。 ・前時までに作成したルーブリックを黒板に貼り，全体で共有しながら進める。ロイロノートで児童にも配信する。 ・ルーブリックの観点に沿って自己評価するように声を掛ける。 ・前時の振り返りから，何人か抜粋し，全体共有する。 ・児童の発言をつないでまとめを作る。
展開① 15 分	③自分の課題を改善する時間をとる。 T９：ではこれからレベルアップタイムをとります。どの方法を選んで学ぼうと思っていますか。 C８：ぼくは友達と発表の練習をします。 C９：私は発音を先生にまず聞こうと思っています。 ※課題解決の方法は個々で選択させる。 ①きく（デジタル教科書の音声や先生への質問） ②発表のための個人練習 ③友達との練習・改善 ④レベルアップカードの活用	・個人解決の場では，今まで学んできた方法を自分の課題に応じて選択させる。途中で練習方法を変えてもよい。 ・児童から質問があった際

	④どのように改善しているかを全体共有する。 T10:どこを改善しましたか。 C10:It's sweet and seasonal.を言いたいんだけど，難しいから何度も練習して言えるようにしました。 T11:英語の練習を頑張ったんですね。きっと伝わりますね。 C11:ぼくは「ぜひ食べて見てください」と付け足しました。 T12:どのように表現したのですか。 C12:"Please try it!"と表現しました。 T13:おすすめしてもらえると，より「食べてみたい」と感じてもらえるかもしれないですね。	は，問い返したり，教えたりする。 ・どのように改善することで，どのようなよさが生まれるかを考えることができている児童を見取り，全体に共有する。
展開② 15分	⑤発表動画を撮影し，相互評価する時間をとる。 T14:同じ班のペアの友達と発表練習をしましょう。まず，自分の発表をどのように改善したのかと，その理由をペアの友達に伝えましょう。 C13:味が詳しく伝わると思ったので，"It's sweet."と付け足しました。 T15:では，ペアで１回ずつ発表練習をしましょう。三つ星チェックを見ながらお互いにアドバイスし合います。その後，もらったアドバイスを生かして，同じペアで動画を撮影し合いましょう。 C14:Hello! My name is ○○. This is "sweet potato rice." This is sweet potato. The name is "imo-sienne." Do you Know "imo-sienne?" Imo-sienne is from Niigata. Sweet potato is in the yellow group. It's sweet and seasonal. Thank you. C15:相手を見て発表できているね。 C16:「ぜひ食べてみて」と英語で言えるといいね。	・発表練習する前に，発表をどのように改善したかを，班の友達に伝える。 ■相手が食べたいと思えるようなオリジナルメニューを伝えるために，食材の産地や栄養素などについて，簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の考えや気持ちとともに話している。 (動画・発表の様子)
振り返り５分	⑥活動を振り返り，カードに記入する。 T16:前回の発表よりも，魅力が伝わる発表になりましたか。どのように改善しましたか。 C17:質問を入れてみました。 T17:どうしてそう改善したのですか。 C18:発表に注目してもらえると思ったからです。 T18:いい改善ですね。ではどのように改善したのかと，その理由を振り返りカードを書きましょう。 C19:前回の動画では，味を伝えることができなかったので，サツマイモご飯が甘くて旬だということを付け足しました。そのほうが，ALTの先生に美味しさが伝わると思ったからです。前回よりもサツマイモご飯の美味しさが伝わる発表にすることができました。ペアの友達が「Please try it.」と言っていたので，次回付け足して発表してみたいです。	・振り返りでは，①今日どのように改善したのかとその理由，②その結果どうなったか，③これからがんばりたいこと，の３つの観点の中から選んで書かせる。 ■自分の課題に応じて，観点を基に発表を改善しようとしている。 (振り返りカード)

(4) 評価

A：「おすすめ和食メニュー」について，前時にできなかった課題に応じて進んで改善しようとし，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。　　（発表・振り返りカード）

B：「おすすめ和食メニュー」について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。

（発表・振り返りカード）